

NO. 11 事業名 森林管理道開設事業（国補）

箇所・地区名 おお とり い
大 鳥 居 線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補 県単

事業名		森林管理道開設事業 (国補)		箇所・地区名		大鳥居線		所在地		中央市大鳥居 西八代郡市川三郷町中山		事業主体		山梨県 中央市													
当 初	計画期間	S61 ~ H25		変更後	計画期間	—		—		⑤再評価時の評価状況〔継続〕 継続して事業を実施し、予定どおり平成25年度の完成を図りたい。 (H15再評価時)																	
	総事業費	2,424 百万円		総事業費	—		今回見直し予定																				
(1) 事業の概要									(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																		
<p>①事業目的及び効果 本路線は、中央市大鳥居を起点とし、市川三郷町中山を経て中央市関原へ至る林道であり、この地域の森林整備・管理を目的とした森林管理道である。利用区域内の県有林にはこれまで林道がなく、木材の搬出、効率的な森林整備に資する路線である。 利用区域476haのうちアカマツ・ヒノキ等の人工林は約55%を占め、開設以降、間伐を主体とした森林整備が効果的に行われている。</p> <p>②事業概要 森林管理道 計画延長 8,600m 幅員 4.0m 利用区域面積 476ha 森林資源蓄積量 43,003m³</p> <p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度以前</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>5,222</td> <td>250</td> <td>3,128</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>1,066</td> <td>67</td> <td>1,291</td> </tr> </tbody> </table> <p>④特記事項 本路線は、昭和61年度から事業に着手し、平成14年度に中央市(旧豊富村)営区間が完成し、平成15年度から県有林となったため県営として開設している。</p>										平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降	延長 (m)	5,222	250	3,128	事業費(百万円)	1,066	67	1,291	<p>①地域・住民の意向状況 (中央市・市川三郷町) 本路線の整備により、間伐等の森林整備が効率的に行うことが可能となった。適正な森林管理を行うため早期完成を要望している。 (中央市長・市川三郷町長から文書による意見聴取)</p> <p>②産業・経済情勢 なし。</p> <p>③国等の方針変更 なし。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更 ・山梨県林道網整備計画(平成17年3月) ・富士川上流地域森林計画(平成19~28年度) ・富士川中流地域森林計画(平成17~26年度) ・県有林管理計画(平成18~27年度)</p> <p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>						
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																								
延長 (m)	5,222	250	3,128																								
事業費(百万円)	1,066	67	1,291																								
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕									<p>・事業採択時計画における事業全体B/C 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C 1.18 ・再々々評価時計画における事業全体B/C 1.40 3,110,837 千円(効果額) ÷ 2,216,617 千円(費用計) = 1.40 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。 事業採択基準値 1.00 以上</p>																		

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 なし。</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率 (整備済計 5,472m / 全体 8,600m)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H15*</td> <td>H16</td> <td>H17</td> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>79</td> <td>82</td> <td>86</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>61</td> <td>64</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>100</td> <td>経過年数 / 計画年数 × 100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>実施済延長 / 計画延長 × 100</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">* 再々評価の実施年度 (H20は見込み)</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 地形が急峻で地質が脆弱な区間があり、実績延長が計画どおり確保できなかったため。</p>		H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	計画	64	68	71	75	79	82	86	89	実績	51	55	55	58	61	64	—	—		H23	H24	H25	算出方法	計画	93	96	100	経過年数 / 計画年数 × 100	実績	—	—	—	実施済延長 / 計画延長 × 100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 今後の開設予定地である尾根を迂回するルートについて、ルート上にある天然林の伐採及び甲府盆地からの景観を考慮し、技術的にも検討した結果、尾根を迂回しないルートへの変更を行うこととする。なお、旧ルート沿いの人工林については、今後作業道の開設を検討する。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 計画延長及び全体事業費の見直し。 現計画 昭和 61 ~平成 25 年度 延長 8,600 m 事業費 2,424 百万円 変更計画 昭和 61 ~平成 25 年度 延長 7,000 m 事業費 1,487 百万円</p>
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22																																			
計画	64	68	71	75	79	82	86	89																																			
実績	51	55	55	58	61	64	—	—																																			
	H23	H24	H25	算出方法																																							
計画	93	96	100	経過年数 / 計画年数 × 100																																							
実績	—	—	—	実施済延長 / 計画延長 × 100																																							
(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性]																																											
地形に合った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては路肩の縮減を行うなど、総合的なコスト縮減に努める。																																											
(6) 評価項目 [代替案立案の可能性]																																											
事業の目的を達成するために、当路線の開設以外に方策はない。																																											
(7) 所管部の今後の方針 継続・ <u>見直し継続</u> ・その他()																																											
森林の適正な管理に必要な路線であるため、全体計画を変更する。また、工程管理を徹底し、進捗率の向上及びコスト縮減に努めながら事業を継続する。																																											

省略

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



中央市大鳥居地区より計画地を望む

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



完成区間の状況（地形に沿った平面線形）



完成区間の状況（木製構造物の使用）

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



完成区間沿線での間伐実施状況



先線の要整備森林の状況